

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2010年9月)

発表日2010年10月28日(木)

～エコカー補助金の反動減などにより大きく悪化～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 岩田 陽之助
TEL : 03-5221-4525

(単位: %)

		商業販売額										コンビニ販売額				
		商業販売額		卸売業		小売業		大型小売店			百貨店		スーパー		前年比	既存店前年比
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店前年比	既存店前年比	既存店前年比	前年比	既存店前年比			
09	7-9月期	▲22.8	▲0.6	▲28.3	▲1.0	▲1.9	0.9	▲5.5	▲7.0	▲9.8	▲5.4	▲3.5	▲6.3			
	10-12月期	▲14.9	▲0.2	▲19.3	▲0.4	▲0.7	▲0.1	▲6.4	▲7.0	▲8.8	▲5.8	▲3.1	▲5.9			
10	1-3月期	▲0.7	3.1	▲2.2	3.0	3.8	2.7	▲4.2	▲4.9	▲4.9	▲4.9	▲2.3	▲5.2			
	4-6月期	2.1	▲0.2	1.5	▲0.2	3.7	0.1	▲2.9	▲3.5	▲3.8	▲3.4	▲0.3	▲3.0			
	7-9月期	1.5	▲1.4	0.9	▲1.9	3.1	0.2	▲1.1	▲1.6	▲3.0	▲0.8	6.9	4.2			
09	4月	▲22.4	4.0	▲27.8	5.4	▲2.8	0.5	▲5.0	▲6.7	▲11.3	▲3.9	6.5	4.0			
	5月	▲24.3	▲0.7	▲30.4	▲1.3	▲2.7	0.1	▲4.5	▲6.4	▲12.1	▲3.0	3.1	0.8			
	6月	▲23.3	▲1.3	▲28.7	▲1.3	▲2.9	▲0.1	▲5.2	▲6.8	▲9.1	▲5.4	0.9	▲1.7			
	7月	▲24.0	1.6	▲29.8	1.9	▲2.4	0.4	▲7.0	▲8.4	▲11.8	▲6.0	▲5.1	▲7.5			
	8月	▲22.4	▲1.5	▲28.0	▲2.2	▲1.8	0.5	▲5.0	▲6.8	▲8.9	▲5.7	▲3.0	▲5.6			
	9月	▲22.0	▲0.5	▲27.1	▲0.2	▲1.3	0.6	▲4.2	▲5.6	▲7.8	▲4.3	▲2.4	▲5.7			
	10月	▲19.2	0.6	▲24.2	0.6	▲1.0	▲0.6	▲6.4	▲7.2	▲10.6	▲5.2	▲2.9	▲5.6			
	11月	▲14.6	0.1	▲18.7	0.0	▲1.1	0.0	▲9.0	▲9.7	▲11.8	▲8.3	▲3.6	▲6.4			
	12月	▲10.9	▲0.1	▲14.6	▲0.5	▲0.2	▲0.3	▲4.2	▲4.6	▲5.1	▲4.3	▲2.8	▲5.7			
10	1月	▲3.8	6.4	▲6.1	7.7	2.3	2.0	▲5.1	▲5.7	▲5.7	▲5.7	▲2.5	▲5.5			
	2月	▲0.9	▲2.6	▲2.7	▲3.2	4.2	0.9	▲3.4	▲4.0	▲5.3	▲3.3	▲1.8	▲4.9			
	3月	2.4	▲4.0	1.5	▲5.9	4.7	0.8	▲4.1	▲4.9	▲3.6	▲5.6	▲2.4	▲5.1			
	4月	3.6	6.1	3.1	8.1	4.9	0.5	▲3.1	▲3.7	▲3.7	▲3.7	▲1.2	▲3.9			
	5月	1.3	▲3.0	0.7	▲3.6	2.9	▲2.0	▲3.2	▲3.9	▲2.1	▲4.8	▲0.8	▲3.7			
	6月	1.3	▲1.3	0.6	▲1.3	3.3	0.4	▲2.4	▲3.1	▲5.7	▲1.6	1.2	▲1.4			
	7月	1.0	2.1	▲0.1	2.3	3.8	0.7	▲1.0	▲1.3	▲1.4	▲1.2	2.9	0.3			
	8月	2.1	▲1.8	1.2	▲3.0	4.3	1.4	▲1.3	▲1.8	▲3.0	▲1.3	3.2	0.7			
	9月	1.4	▲1.3	1.5	0.0	1.2	▲3.0	▲1.1	▲1.7	▲5.0	0.1	15.1	12.2			

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○9月小売業販売額：前月比▲3.0%

経済産業省から本日公表された10年9月の小売業販売額は前年比+1.2%となり、事前の市場予想(前年比+3.2%、レンジ同+1.9%~同+4.8%)を大幅に下回る結果となった。季節調整値でも、前月比▲3.0%と大幅に減少している。3ヶ月連続で増加が続いていた小売業販売額も一旦足踏みする結果となっている。この結果、7-9月期の小売業販売額は前期比で+0.2%と小幅の増加となった。

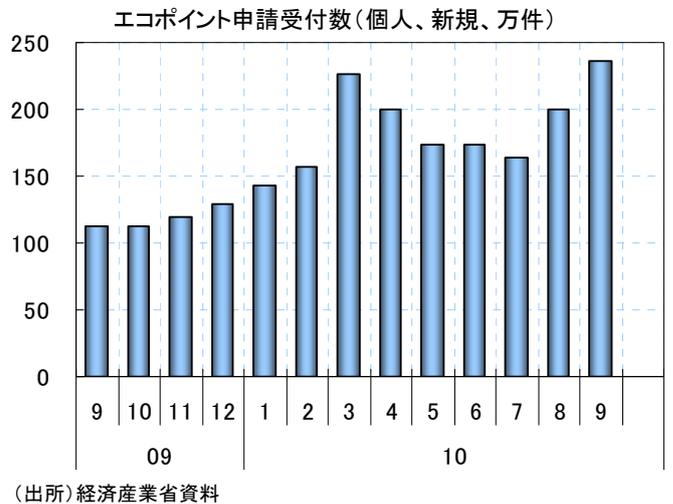
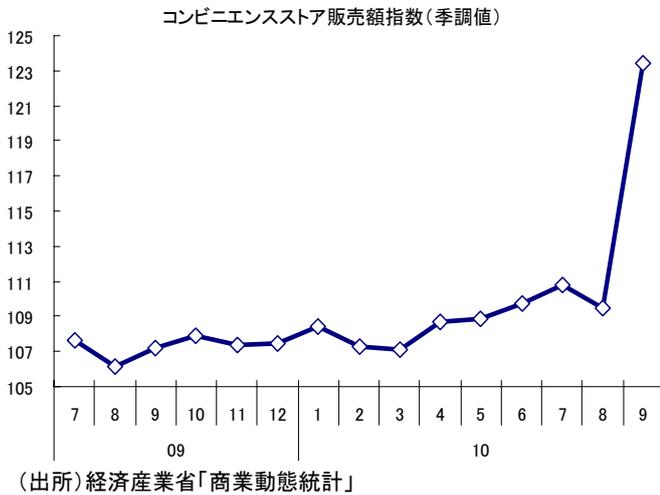
今月の低下の主因は、自動車販売の大幅減少だ。9月上旬でエコカー補助金が終了して以降、乗用車販売が急減しており、自動車小売業(前月比▲17.2%)が大きく減少する結果となった。その他今月マイナスに寄与したものとしては、織物・衣服・身の回り品小売業飲料(同▲1.1%)が挙げられる。記録的な残暑によって秋物の販売が低調に推移していることが悪化に繋がったと考えられる。

以上の通り、自動車や衣料品の販売不調により大きく悪化する結果となったが、今月の結果に関してはいくつか気になる点がある。

まず、コンビニ売上の大幅増加との乖離である。10月1日からの値上げに向けてたばこの駆け込み需要が発生したため、コンビニの売上は大きく増加した。たばこが含まれる非食品の販売額が前月比+44.6%と増加しており、全体でも同+12.7%の伸びとなっている。他方、コンビニが分類されると思われる飲食料品小売業や各種商品小売業はそれぞれ同▲0.6%、0.0%に止まった。次に、機械器具小売業(同▲0.8%)が減

少ししたことにも多少違和感を覚える。9月は気温の上昇によってエアコンなどの出荷が好調であったほか、テレビの販売増加により、エコポイントの申請件数などは大きく増加している。

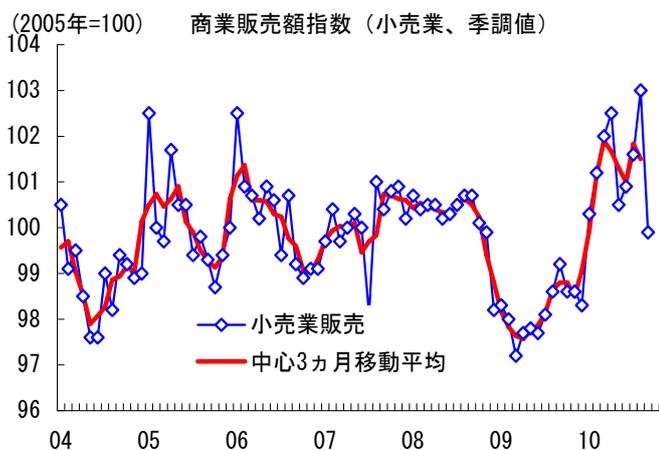
これらの変化がサンプル要因などによって十分に反映されなかった可能性もあり、9月の個人消費の実態はヘッドラインの数字ほど弱い内容ではなかったことも考える。家計調査や消費財出荷など他の統計も合わせて今月の実勢を見極めたい。



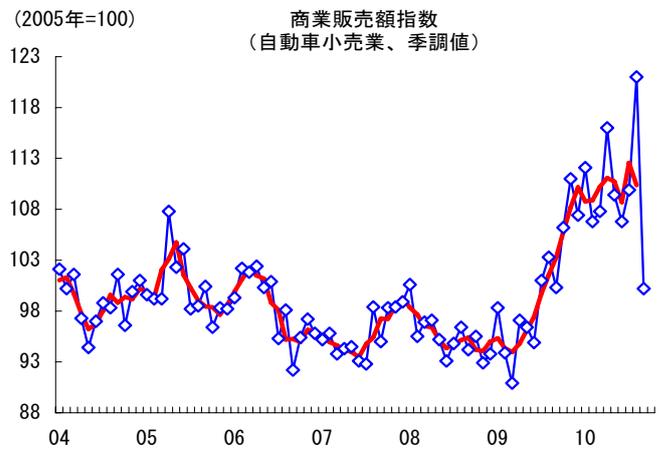
○自動車、たばこの反動減が10-12月期の個人消費を下押し

先行きについて、10-12月期の個人消費は低調な結果が予想される。エコカー補助金制度の反動減が引き続き個人消費を下押しすると思われる。また、今月駆け込み需要が確認されたたばこにおいても、同様に反動減が見込まれよう。これら2点を主因として10-12月期の個人消費は悪化が予想される。

家電販売について、12月からエコポイントの付与点数が半減するため、10、11月とテレビなどを中心として販売増加が期待される。ただ、これも12月に反動が出るであろうことを考えれば、10-12月期全体で見るときにはその押し上げに多くは期待しがたい。景気の先行き懸念の高まりから消費者のマインドも悪化しつつあり、先行きの個人消費は一旦弱含む公算が大きい。

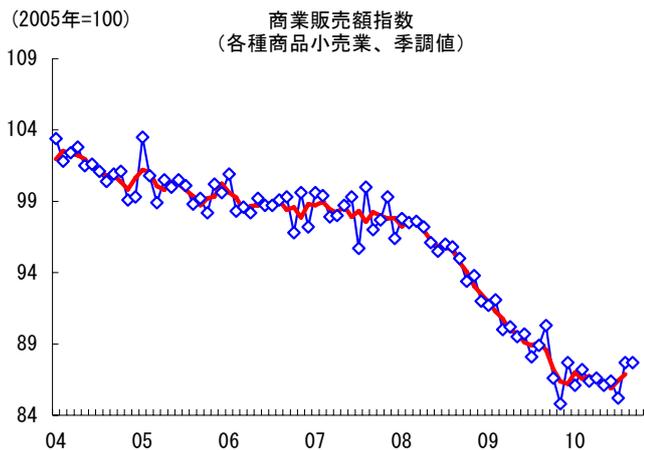


(出所) 経済産業省「商業販売統計」

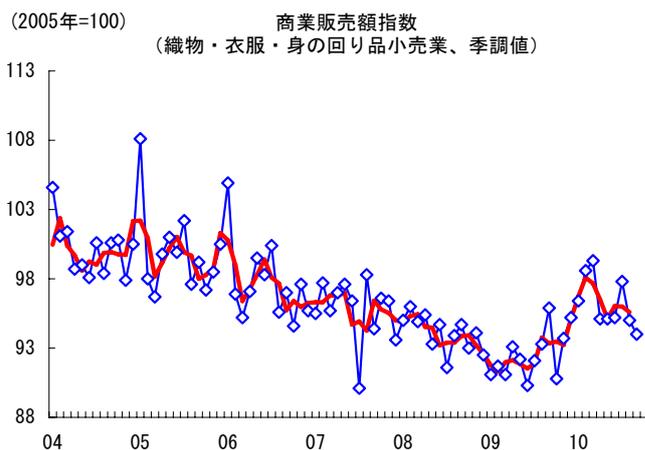


(出所) 経済産業省「商業販売統計」

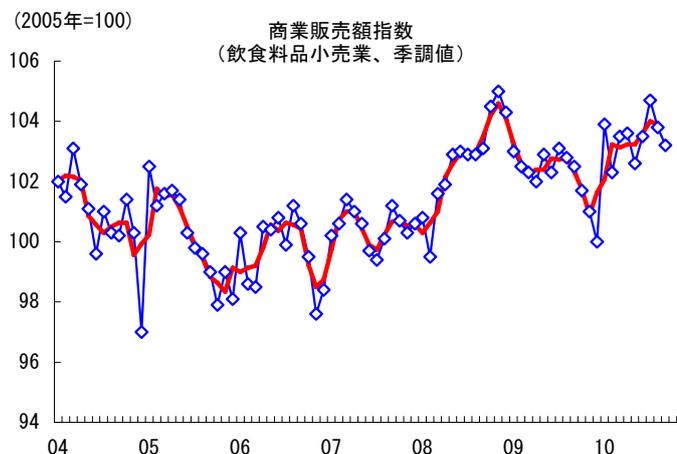
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



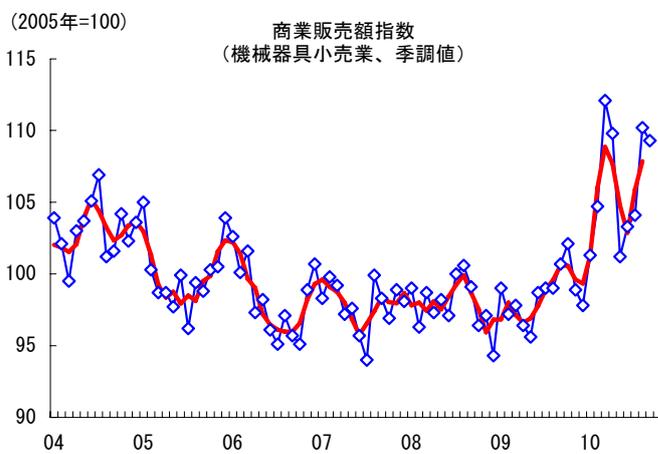
(出所) 経済産業省「商業販売統計」



(出所) 経済産業省「商業販売統計」



(出所) 経済産業省「商業販売統計」



(出所) 経済産業省「商業販売統計」